

日 時	令和6年10月24日(木) 10:00~10:30 第4回経営会議
出席者	平原副市長、伊地知副市長、技監、政策経営局長、総務局長、財政局長、脱炭素・GREEN×EXPO推進局長、市民局長、中区長
欠席者	大久保副市長、佐藤副市長
議 題	(仮称)豊岡町複合施設再編整備事業について【財政局・教育委員会事務局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴見区豊岡小学校の建替えの機会を捉え、敷地の容積の余剰分を活用して周辺の公共施設（鶴見図書館、鶴見保育園、つるみ区民活動センター、鶴見区地域子育て支援拠点）とコンセプトに合う民間機能を併せて再編整備し、マネジメント3原則の取組を推進する。 ・令和6年7月に施設規模・構成、配置計画案、事業手法等を示した事業計画（素案）を公表し、意見交換会や意見募集を実施したため、事業計画として確定する。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編整備にあたっては、マネジメント3原則に則り、小学校と親和性の高い周辺の公共施設を建替え・複合化することで、効率的な整備等を行うとともに、各施設の機能を結び付けた相乗効果や新たな価値を創出し発揮することで、地域の活性化や魅力の向上に寄与する施設の整備を目指す。 ・本事業では、以下の3つをポイントとして実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ①事業費縮減・財政負担の平準化・民間事業者のノウハウの活用をはかるため、公民連携手法のPFI事業（BOT方式）を基本として検討を進める。 ②学校プールはPFI事業と分け、定期借地権設定事業とし、民設民営による整備を目指す。 ③図書館等の市民利用施設は、「横浜市図書館ビジョン」の趣旨も踏まえ、子ども・子育て世代向け空間の充実、体験・交流等の新たな機能も付加した空間づくりを行う。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館再編整備にあたっては、中長期的な財政負担に係る影響について、引き続き計画段階から十分に検討していくこと。 ・複合化することのメリットについて、市民に対して丁寧な説明をすること。 ・施設整備においては現在の標準的な水準にあわせると面積規模が拡大する傾向にあるが、地域ごとに機能の必要性などを勘案し不要なものは見直すなど公共建築物全体の総量調整に係る検討や議論が重要。 ・物価高騰に起因する価格変動リスクも視野に入れたVFMを意識すること。 <p>【結論】</p> <p><u>主な意見を踏まえつつ、局案について了承。</u></p>